【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公表番号】特表2012-505924(P2012-505924A)
【公表日】平成24年3月8日(2012.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2012-010
【出願番号】特願2011-532305(P2011-532305)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/433　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/433
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０５
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　13/00
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　 1/18
Ａ６１Ｐ　13/10
Ａ６１Ｐ　 1/02
Ａ６１Ｐ　 1/00
Ａ６１Ｐ　17/00

【手続補正書】
【提出日】平成24年9月20日(2012.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
’１６１　ＫＳＰ阻害剤によって誘導された有糸分裂停止の状態にある病原性細胞のアポトーシスを増加させるための組成物であって、’１６１　ＫＳＰ阻害剤を含む、組成物。
【請求項２】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、有糸分裂停止を誘導した前記阻害剤と同じである、請求項１に記載の組成物。

【請求項３】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、化合物１であり、該化合物１は、２－（３－アミノプロピル）－５－（３－フルオロフェニル）－Ｎ－（２－メトキシエチル）－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、化合物２であり、該化合物２は、２－（３－アミノプロピル）－５－（３－フルオロフェニル）－Ｎ－メトキシ－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項５】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、化合物３であり、該化合物３は、２－（３－アミノプロピル）－５－（２，５－ジフルオロフェニル）－Ｎ－メトキシ－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項６】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、化合物４であり、該化合物４は、（Ｓ）－２－（３－アミノプロピル）－５－（２，５－ジフルオロフェニル）－Ｎ－メトキシ－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項７】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、化合物５であり、該化合物５は、（Ｒ）－２－（３－アミノプロピル）－５－（２，５－ジフルオロフェニル）－Ｎ－メトキシ－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項８】
前記’１６１　ＫＳＰ阻害剤は、化合物６であり、該化合物６は、２－（３－アミノプロピル）－５－（２，５－ジフルオロフェニル）－Ｎ－ヒドロキシ－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項９】
前記病原性細胞は、癌細胞である、請求項１から８のいずれかに記載の組成物。
【請求項１０】
前記病原性細胞は、血液系腫瘍細胞である、請求項１から９のいずれかに記載の組成物。
【請求項１１】
前記病原性細胞は、リンパ腫の細胞、白血病の細胞および多発性骨髄腫の細胞から選択される、請求項１から１０のいずれかに記載の組成物。
【請求項１２】
前記病原性細胞は、固形腫瘍細胞である、請求項１から９のいずれかに記載の組成物。
【請求項１３】
前記病原性細胞は、皮膚の癌の腫瘍細胞、乳房の癌の腫瘍細胞、脳の癌の腫瘍細胞、子宮頸癌の腫瘍細胞および精巣癌の細胞から選択される、請求項１から９または１２のいずれかに記載の組成物。
【請求項１４】
前記病原性細胞は、乳癌、結腸直腸癌、非小細胞肺癌、膵癌、膀胱癌、唾液腺癌（腺様嚢胞癌）、食道癌、中皮腫癌、および混合小細胞肺癌／非小細胞肺癌から選択される、請求項１から９または１２のいずれかに記載の組成物。
【請求項１５】
最大許容投与量で投与されることを特徴とする、請求項１から１４のいずれかに記載の

組成物。
【請求項１６】
化合物４によって誘導された有糸分裂停止の状態にある病原性細胞のアポトーシスを増加させるための組成物であって、該組成物は化合物４を含み、そして生物学的有効用量で投与されることを特徴とし、該化合物４は、（Ｓ）－２－（３－アミノプロピル）－５－（２，５－ジフルオロフェニル）－Ｎ－メトキシ－Ｎ－メチル－２－フェニル－１，３，４－チアジアゾール－３（２Ｈ）－カルボキサミドである、組成物。
【請求項１７】
前記病原性細胞は、癌細胞である、請求項１６に記載の組成物。
【請求項１８】
前記病原性細胞は、血液系腫瘍細胞である、請求項１６または１７に記載の組成物。
【請求項１９】
前記病原性細胞は、リンパ腫の細胞、白血病の細胞および多発性骨髄腫の細胞から選択される、請求項１６から１８のいずれかに記載の組成物。
【請求項２０】
前記病原性細胞は、固形腫瘍細胞である、請求項１６または１７に記載の組成物。
【請求項２１】
前記病原性細胞は、皮膚の癌の腫瘍細胞、乳房の癌の腫瘍細胞、脳の癌の腫瘍細胞、子宮頸癌の腫瘍細胞および精巣癌の細胞から選択される、請求項１６、１７または２０のいずれかに記載の組成物。
【請求項２２】
前記病原性細胞は、乳癌、結腸直腸癌、非小細胞肺癌、膵癌、膀胱癌、唾液腺癌（腺様嚢胞癌）、食道癌、中皮腫癌、および混合小細胞肺癌／非小細胞肺癌から選択される、請求項１６、１７または２０のいずれかに記載の組成物。
【請求項２３】
最大許容投与量での投与のためのものである、請求項１６～２２のいずれかに記載の組成物。
【請求項２４】
前記生物学的有効用量は、１．２５ｍｇ／ｍ^2／日である、請求項１６から２３のいずれかに記載の組成物。